

大豆極多収品種「そらみのり」の栽培状況について

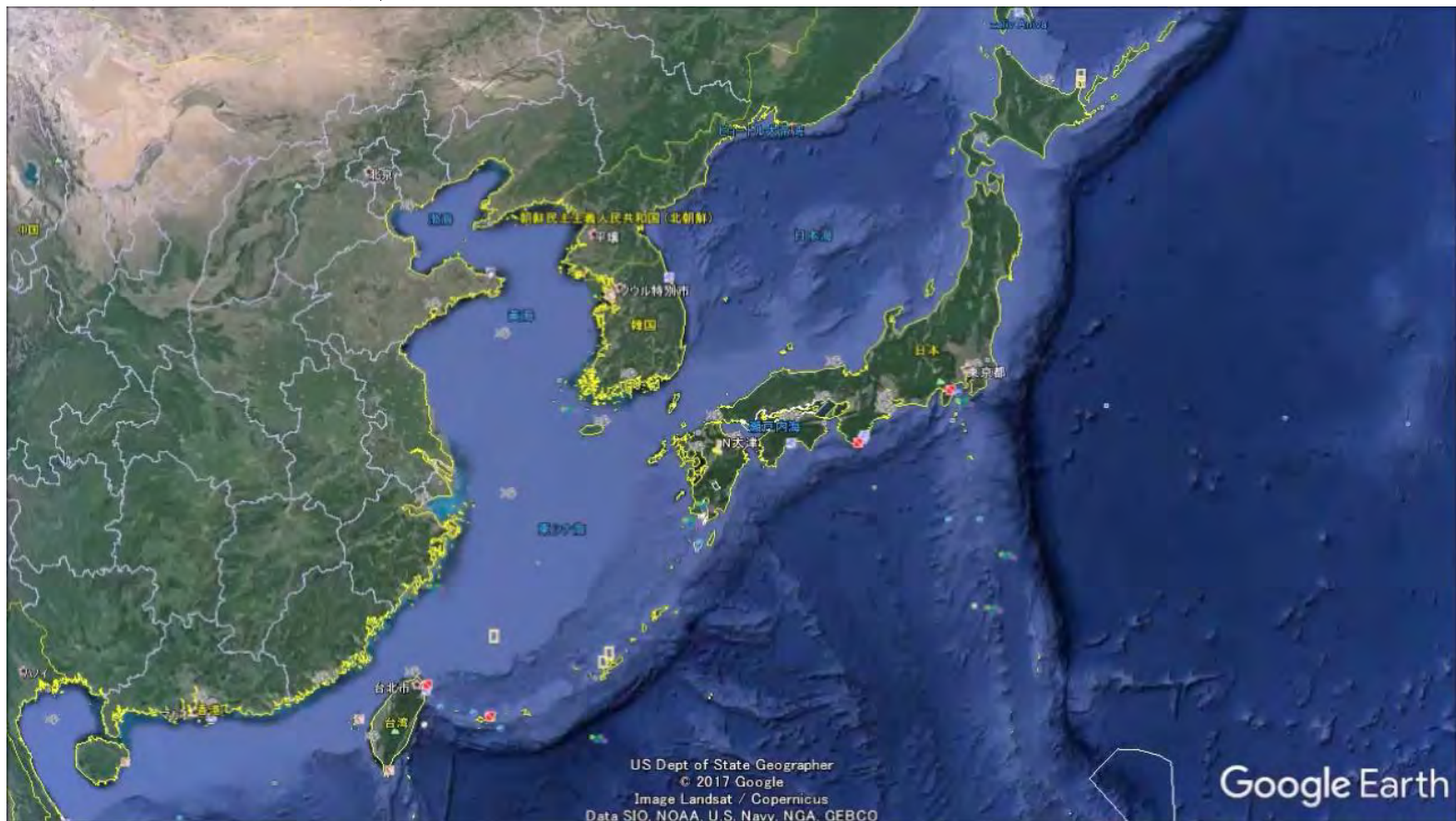
①令和4年度大豆極多収系統「九州187号」試験栽培について

②令和5年度大豆極多収品種「そらみのり」栽培状況について
※2023年4月登録出願

③令和7年産大豆極多収品種「そらみのり」栽培スケジュールについて

ネットワーク大津株式会社とは……

ネットワーク大津株式会社が位置する熊本県菊池郡大津町は、北部と南部に阿蘇外輪山に連なる広大な畑作台地が広がり、その中央部を、阿蘇山を源流とする白川が東西に貫流し、白川中流域とよばれる白川兩岸に広がる肥沃な水田地帯を活動地域として、農業生産を行っています。

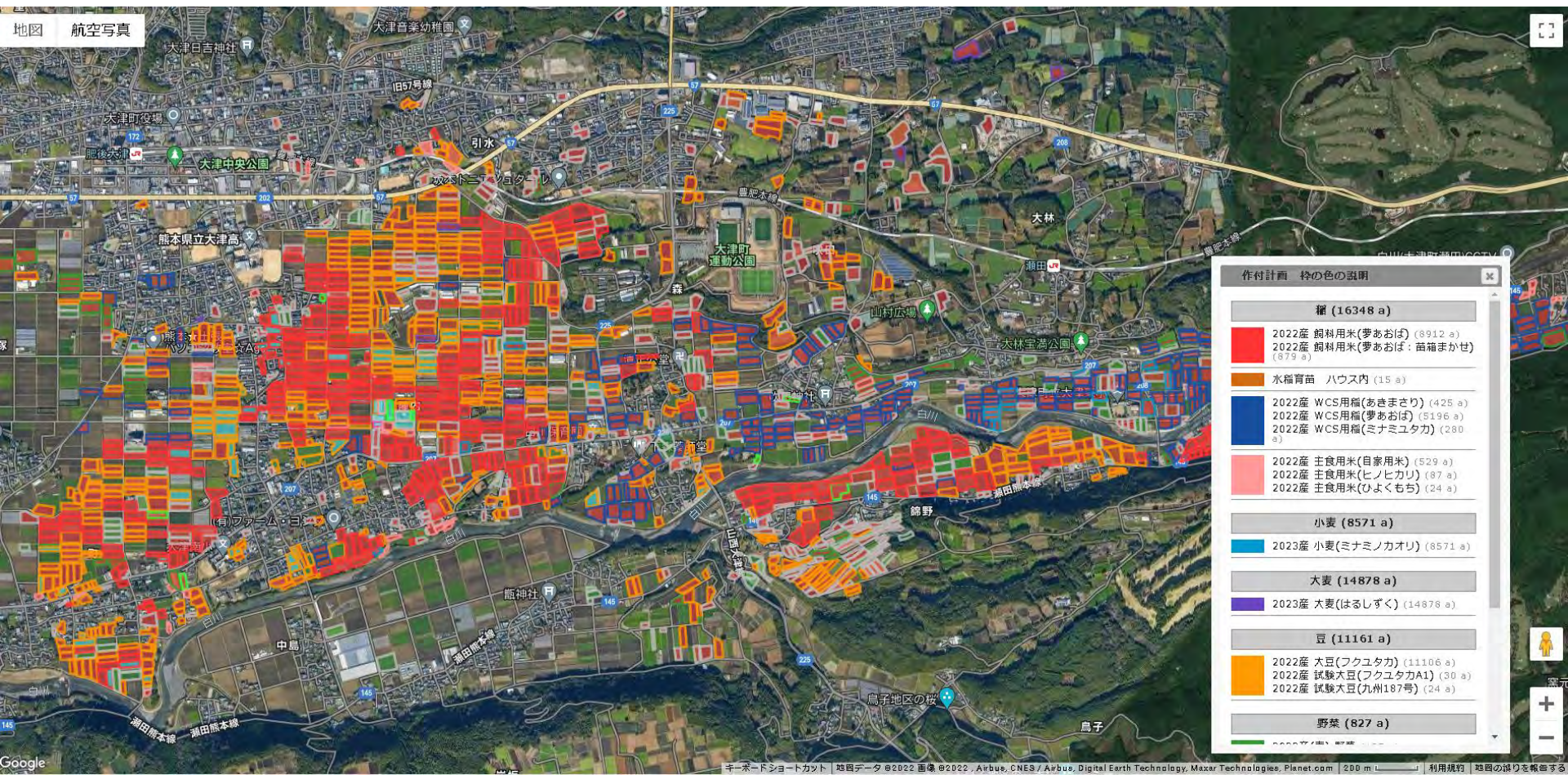




経営概要

- ① 13集落持株会と本社から構成。
集落：内牧、外牧、大林、錦野、吹田、森、上陣内、中陣内、下陣内、町、新、鍛冶、引水
- ② 構成員（出資者）
287名（289名）
- ③ 資本金・出資金
資本金 57,150,000円（出資金 77,150,000円）
内JA 5,000,000円
内大津町 2,500,000円
- ④ 雇用人数
オペレーター・補助員登録：118名
社員：11名（男性9名・女性2名）
- ⑤ 経営面積
利用権設定面積:160.9ha 特定作業受託面積:164.1ha 合計面積:325.ha
延べ経営規模：513.7ha
令和4年度作付実績
水稻：1ha、大豆：105.3ha、飼料用米(SGS)：97.9ha、稲WC S：57.9ha、大麦：150.3h、小麦：84.4h、飼料作物：16.9h
TMR製造 3,628 t

KSAS(クボタスマートアグリシステム)

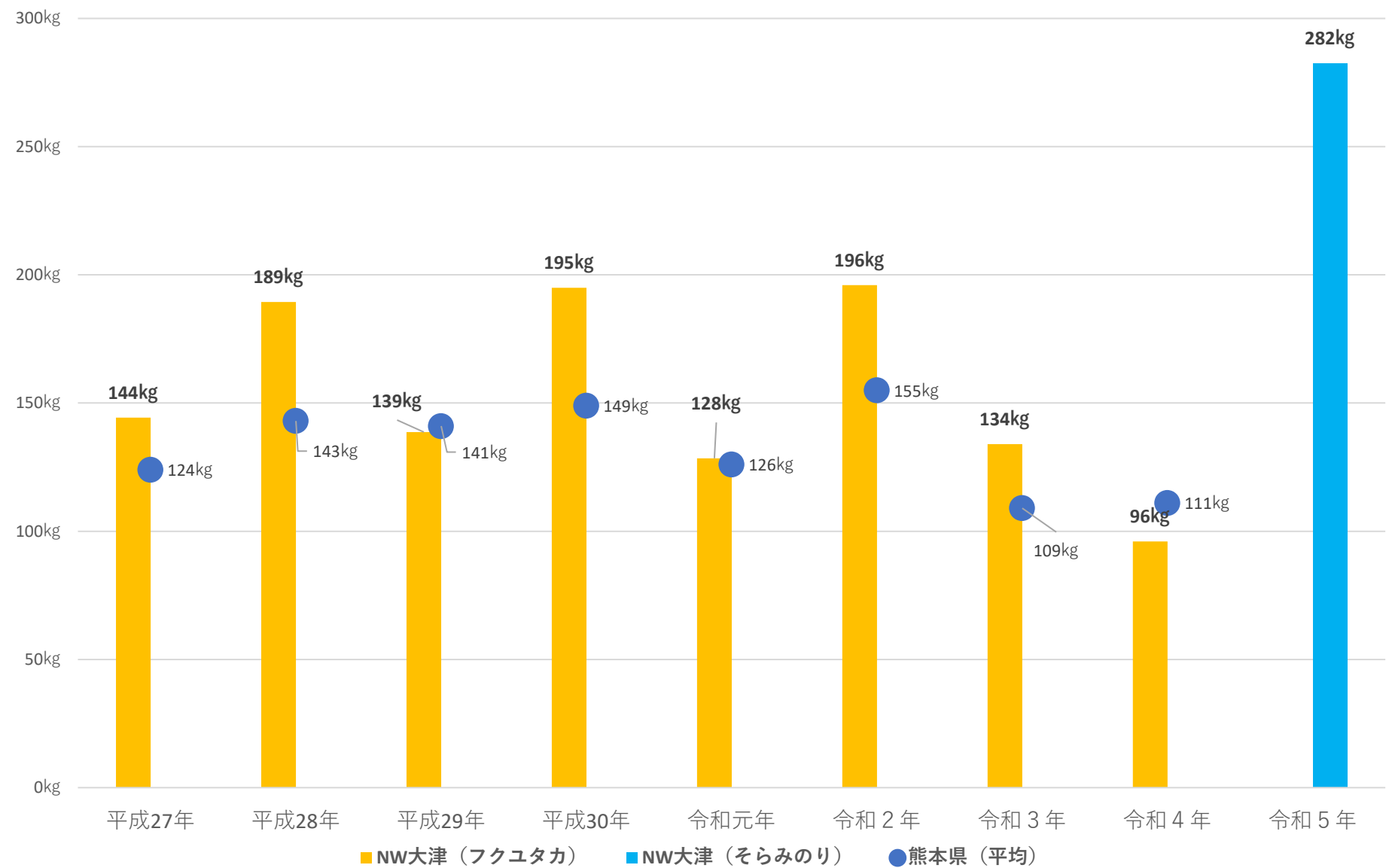


極多収品種(そらみのり)の栽培状況について

令和4年産 作付実績

集落	大麦	小麦	大豆			飼料用米 (SGS)	WCS				主食用米(自家用米除く)			飼料作物
	はるしずく	ミナミカオリ		フクユタカ	フクユタカA1	夢あおば		夢あおば	あきまさり	ミナミユタカ		ヒノヒカリ	ひよくもち	基幹作
内牧	141,000						141,930	138,060		3,870	3,250	3,250		64,940
外牧	87,890		18,970	18,970		106,380	18,120	2,140		15,980				13,560
錦野	239,430	31,850	139,425	139,425		140,670	6,600	6,600						6,640
大林	11,000	64,598					120,208	115,198		5,010				17,040
吹田	149,359		29,254	29,254			140,357	140,357						1,130
森	109,185	60,130	107,498	107,498		10,910	86,760	86,760						13,970
上陣内	110,363	170,581	106,603	106,603		172,060	17,840	2,130	15,710		4,330	4,330		1,000
中陣内	119,750	45,396	62,136	62,136		136,380	3,400	3,400						
下陣内	83,354	45,870	63,714	63,714		60,540								
鍛冶	77,879	86,300	86,240	86,240		75,399								
町	123,635	127,960	161,001	161,001		101,280	2,200	2,200						5,860
新	47,210		25,170	25,170			41,560	14,660	26,900					44,920
引水	145,074	141,637	165,213	165,213		136,394								
本社	57,921	69,740	87,782	84,692	3,090	38,649					2,400		2,400	
合 計	1,503,050	844,062	1,053,006	1,049,916	3,090	978,662	578,975	511,505	42,610	24,860	9,980	7,580	2,400	169,060
水田	1,373,730	812,826	水田	847,503										
	大麦	小麦	大豆			飼料用米	WCS				主食用米			飼料作物
	150.3ha	84.4ha	105.3ha			97.9ha	57.9ha				1.0ha			16.9ha
	234.7ha													

大豆生産量の推移(10a当り)



令和4年度極多収系統「九州187号」試験栽培について

近年の当管内における大豆栽培においては

- ①**温暖化**に伴う、ゲリラ豪雨、播種適期の遅れ、台風の大型化による低収傾向
- ②成熟期の高温により、収穫前から**裂莢が発生**し収量ロスが拡大
- ③高温により**葉焼病が多発**し早期落葉による低収化、小粒化が顕著になる

等の問題が発生しており、その対策として産官連携による大豆極多収系統「九州187号」の試験栽培を実施する事となった。

【参加組織】

九州沖縄農業研究センター・熊本県県北農業普及・振興課
JA菊池・KD食品株式会社・ネットワーク大津(株)

【生育経過】比)フクユタカ

播種期： 6月30日

開花期： 8月5半旬 (九州187号:8月30日)

成熟期:11月1日 (九州187号:11月10日)

- ・播種時は天候に恵まれ予定通りに播種ができ、その後は適度な降雨もあり出芽苗立ち及び以後の生育は順調で、十分に生育量は確保され開花期は8月5半旬頃であった。
- ・莢伸長期に当たる9月5～6日の台風11号、粒肥大期に当たる9月18日の台風14号により、倒伏や葉の裂傷が多くみられた。特に、「九州187号」及び「比)フクユタカ」の圃場で影響が大きかった。

1生育調査

品種名 系統名	成熟期主茎長 (c m)	子実重 (k g / 1 0 a)	標準対比	百粒重 (g)	タンパク質 (%)
九州187号	84	226	153	24.0	44.1
比) フクユタカ	73	148	100	27.9	45.1

注) 「九州187号」と「比) フクユタカ」は同一圃場
注2) コンバインによる全刈り収量

7月23日



11月18日(収穫)

現地検討会(8月30日)



【概評】

○「九州187号」は「フクユタカ」と比較して、主茎長が約10cm長くなった。

○「九州187号」は「フクユタカ」と比較して、成熟期が約10日遅かった。

○「九州187号」は「フクユタカ」と比較して、コンバイン全刈り収量では153%と大幅な多収となった。やや小粒傾向で中粒主体である。

○「九州187号」は、自然裂莢がわずかに見られるものの、「フクユタカ」に比較して自然裂莢や収穫時のロスは明らかに少なく、難裂莢性の特徴が確認された。

参考資料:九州沖縄農業研究センター

令和5年度極多収品種「そらみのり」栽培状況について

大豆「そらみのり」作業日報

作付面積:47,159m²

1 耕起作業

麦刈取後耕起 6月7日～11日(小麦ワラ鋤きみ)

播種前耕起 1回目 6月27日～7月11日

2回目 7月15日

2 播種(肥料・除草剤同時散布) 7月16日

肥料:大豆低コスト肥料038 15kg/10a

除草剤:ラクサー粒剤3kg剤 5kg/10a

3 中耕培土 1回目 8月3日 ※雑草が多かった為作業を追加。

2回目 8月16日～26日 ※鋤上げ

4 防除 9月12日～15日 農薬:ノーモルト乳剤、スタークル顆粒水和剤 2000倍

5 収穫 11月21日

令和5年8月30日開花期



令和5年9月27日



フクユタカ

そらみのり

開花期生育状況



参考資料：
県北農業普及・振興課

着莢状況(分枝多)



そらみのり



フクユタカ

令和5年10月19日



そらみのりについては、7月16日に播種されたが、10月30日現在、黄葉期(フクユタカは成熟期で7日程度遅い)となっている。
フクユタカより分枝数が多く、着莢状況もよく、多収が見込める様子。粒数が多いためか、粒はフクユタカよりやや小さい中粒傾向。

令和5年10月30日



参考資料: 県北農業普及・振興課

令和5年11月2日フクユタカ刈取り適期



1.そらみのり成熟期調査

		主茎長cm	主茎節数	分枝数	着莢数 (個/本)
大津	そらみのり	77.2	13.2	4.9	83.7
	フクユタカ	69.5	13.5	2.8	66.0

2.裂莢調査（11/2実施）

		総莢数	裂莢数	裂莢割合%
大津	そらみのり	1123	2	0.2
	フクユタカ	747	23	3.1

3.そらみのり収量調査

		地上部全重 kg/10a	粗子実重 kg/10a	子実重 kg/10a	粒度 %				屑粒重 kg/10a	百粒重 g	水分 %	等級	備考 (被害粒等)
					7.9mm	7.3mm	5.5mm	4.9mm					
大津	そらみのり	776	444	441	38	53	9	0	2	28.6	11.4	1,2	
	フクユタカ	520	279	278	45	44	11	0	1	28.1	11.0	1,2	

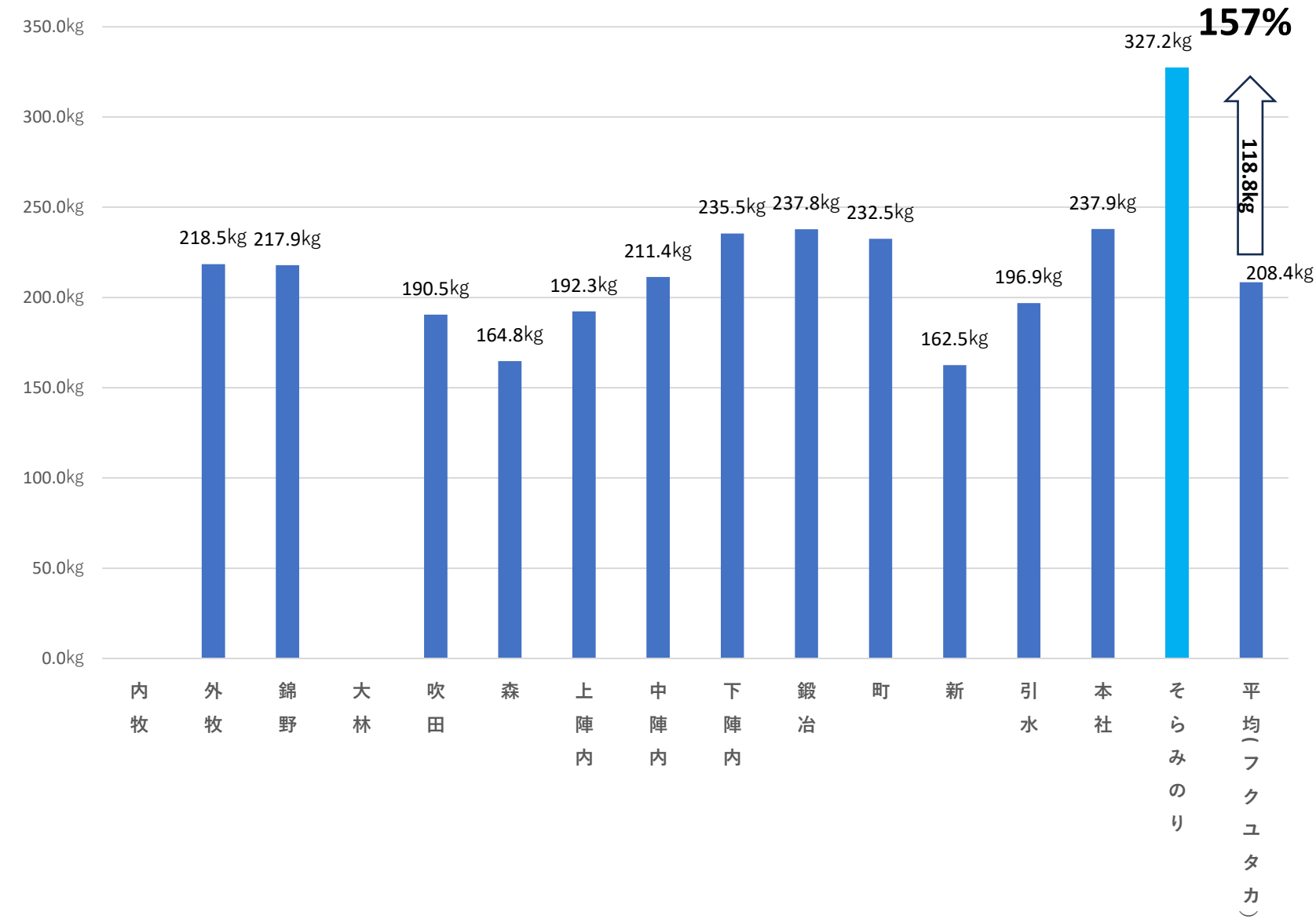
参考資料：県北農業普及・振興課

令和5年11月9日そらみのり刈取り適期



参考資料: 県北農業普及・振興課

令和5年大豆単収量（カントリー入庫数量）



令和7年産極多収品種「そらみのり」 栽培検討会議



「そらみのり」の加工適性への期待

1. タンパク質含有率が「フクユタカ」とほぼ同程度で、豆腐・納豆等加工適性も良好と思われる。
2. 白目で見た目がきれいで、特に納豆加工適性は高いと思われる。

令和5年産を実需に納品後、加工テストを実施して加工適性を確認し、今後の普及・拡大を検討する。



1月12日(ネットワーク大津会議室)

九州沖縄農業研究センター・熊本県県北農業普及・振興課
KD食品株式会社・ネットワーク大津(株)

令和7年産 大豆(そらみのり)の取り組みについて

令和5年産大豆実績については下記の通りとなっております。 ※CE荷受け重量実績

品種	作付面積	収穫量	10a当り
フクユタカ	991,535 m ²	206,666 kg	208.4 kg
そらみのり	47,159 m ²	15,430 kg	327.2 kg

上記の実績を受けJAとの今後の方針・CEの今後の受け入れ態勢など協議・検討を行った結果
そらみのりへの作付け変更が、今後のネットワーク大津にとっても有益になると思われる為、
令和7年産作付より全面転化を実施検討する。

※ 令和6年産大豆種子は注文済みの為、会社圃場にて令和7年産そらみのりの種子確保を行う。

【今後のスケジュール】

令和5年12月	令和7年産種子注文(フクユタカA1) 一時保留
↓	
令和6年1月	取締役会議にて取り組み方針協議 そらみのり発芽試験の実施
↓	
令和6年2月 ～3月	JA菊池・経済連・九州沖縄農業研究センター等と今後の取引について協議の実施
↓	
令和6年2月	CEにて令和5年産大豆検査実施 (令和6年産そらみのり種子の数量の確定)
↓	
令和6年4月	CE運営委員会にてネットワーク大津以外へのそらみのりの取り扱い説明
↓	
令和6年7月	大豆播種
↓	
令和6年11月	大豆収穫兼そらみのり採種 (令和7年産そらみのり種子確保)